九州建設情報社

九州・沖縄地区の１０月生コン出荷量（全生連九州地区本部）

前年同月比１．１％増、熊本県は１９．７％増

全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部がまとめた８年度月別・地区別出荷実績によると、１０月度は九州・沖縄地区（宮崎県を除く）で前年同月比１．１％増の合計７１万９，３９５ｍ３。

１０月度の県別内訳は、「福岡県」が前年同月比５．６％増の２６万８，５０１ｍ３、「佐賀県」同２８．４％減の１万９，９２３ｍ３、「長崎県」同１１．８％減の５万２，１３６ｍ３、「熊本県」同１９．７％増の１３万２，５８９ｍ３、「大分県」２４．１％減の５万２５８ｍ３、「鹿児島県」同１．９％減の８万１，８９４ｍ３、「沖縄県」同３．９％増の１１万４，０９４ｍ３。福岡県、熊本県、沖縄県が増加している。

８年度累計では、「福岡県」が前年度比７．７％増の１６６万３，８８６ｍ３、「佐賀県」同２４．７％減の１３万６，３５２ｍ３、「長崎県」同１５％減の３２万６，０２１ｍ３、「熊本県」同１．２％減の６８万１，１９６ｍ３、「大分県」２３．９％減の３３万６５ｍ３、「鹿児島県」同７．６％減の４８万４，１３３ｍ３、「沖縄県」同８．９％減の７０万８７６ｍ３。福岡県が好調に推移している。